



だい かん ちやう かい だいに こもん  
大 管 長 会 第 二 顧 問  
ヘンリー・B・  
アイリング 管 長

# か ぞ く 家 族 を あ い 愛 す る

よ げんしゃ たみ たが わごう あい あ むす  
預 言者アルマは民に、「互いに和合し、愛し合って結ば  
れた心を持〔つ〕」ように言いました（モーサヤ18:  
21）。時々、家族の中で一致を感じるのがむずかしいとき  
もありますが、せいいいが助けてくださいます。

ある日、まだおさない息子がベッドの上で飛びはねてい  
ました。あまりにはげしく飛びはねている  
ので、ベッドがこわれるのではないか

とおも と思いました。わたしはいら立ちました。つつかかとベッド  
に近寄ると、息子のかたをつかみました。目と目が合うよ  
うに、息子を持ち上げました。

すると、心の中にせいいいの静かな声が聞こえてきたの  
です。「あなたがかかえているのは偉大な人物です。」その  
言葉は心に深くひびきました。わたしは息子をそっとベッド  
にもどし、あやまりました。

いま むすこ い だい じんぶつ  
今、息子は偉大な人物になっています。息子を天の  
おんちち がごらん になっているように神の子として見られるよ  
う、せいいいが助けてくださったことに感  
謝の気持ちでいっぱいです。

か ぞ く み とき、そしてか ぞ く のこと を かんが  
家族を見るとき、わたしたちはせいいいに耳をかた  
むけようと努力することができます。そう  
すれば、家族の中でもっとあいを 感じられる  
ことでしょう。●

このお話は、「わたしは平安をあなたがたに残して行く」「リアホ  
ナ」2017年5月号、15-18をもとに書かれました。



イラスト／ホリー・ヒバート